くまもと県民葬祭
ふれあい通信 4月号

2010年3月28日　第051号

発行：くまもと県民葬祭
発行責任者：専務取締役 岩崎 寿子

ホームページ
http://www.0077-78-1059.com
E-mail info@0077-78-1059.com
お問い合わせ（通話無料）0077-78-1059

熊日夕刊に広告掲載
市営バス小峯線車内アナウンスも

　四月から下期を迎えますが、今期から広告戦略を紙媒体に大きくシフトし、その一環として新たに熊本日日新聞夕刊に広告掲載をスタートいたします。
　掲載するのは月に四回で、わかり辛いといわれる葬式について詳しく解説しお葬式で後悔したという方が一人でも少なくなればとの想いもこめています。
　同時に、その時々の最新の話題や催事予定なども掲載し、広く多くの皆様に情報発信ができればと思っています。
　また、四月から始める新たな戦略としては更に社が県道に面し、当市営バスの灰塚バス停の前に位置する利点を生かし同バス停を通過する全てのバスの車内アナウンスで「ファミリースペース」を案内する宣伝放送をスタートします。
　同バス停は一日に上下約二八〇便のバスが通過し、一万人近い利用者がある路線で、バスを利用し当社へ来館される方の利便性が高まればと考えています。
　放送は下りが東京塚〜灰塚間、上りが東灰塚〜灰塚間で流れます。
　また、今年で五年目を迎えるリビング新聞ゴールド倶楽部広告は今年も継続して掲載します。
　下期も一人でも多くの方に当社の考えをご理解いただくとともに、読者の皆様にも有益な情報提供ができるよう努力を重ねて参ります。

寄贈
書画「ころころりんご」
安田瑞花様（東京塚町）

　この度、東京塚町にお住まいの安田瑞花様から書を寄贈いただき、早速、正面玄関から入ってすぐのロビーに展示させていただきました。
　作品名は「ころころりんご」というもので、作者の安田さんによると人生の一生を表しているとのことです。
　人間は生まれたときは小さく、そこから成長し次第に大きくなり、ピークを過ぎるとふたたび小さくなっていく様子を「りんご」を用いて表現されています。
　人生終焉の理想的な形として「ピンピン・ころり」という言葉がありますが、この書は何となくその言葉も連想されるような気がします。
　これまで殺風景であったロビーもお陰様で明るくなりました。作品の寄贈に対し心から深くお礼申しあげます。（平成二十二年三月一日）

― 変わりゆくお葬式のカタチ ―
あなたらしく生きるための…
お葬式講座開催　４月17日・18日　入場無料

　四月十七日午後二時（尾ノ上コミュニティーセンター）と十八日午後二時（帯山コミュニティーセンター）で、夫々お葬式講座を開催します。何れも定員は八十名で入場料は無料です。
　講演の内容は、相変わらずマスコミなどで取り沙汰される業界の問題やお葬式で後悔しないための秘訣、トラブルに巻き込まれないためのポイントなどを一時間程度お話しし、その後に質疑応答の時間を設けています。
　きっとあなたらしい「生き方」と「逝き方」を見つける参考になる講座だと思いますよ。
　当日は座席に限りがあります。事前にお申込いただくと優先してご入場いただけますので、ご希望の方はお電話などでお申込ください。
　皆様のご来場をスタッフ一同心からお待ち申しあげます。

ファミリースペース専用花台導入
お洒落なデザインが式場にもマッチ

　ファミリースペース東京塚に素敵なアイテムが一つ加わりました。それは木製のアンティークなデザインで会場にもマッチする供花用の花台です。
　従来のものは金属のパイプ製が多く組立て式で、せっかくの綺麗な花も見栄えが悪くなるという感じのものも少なくありませんでした。それに対し今回導入した専用花台は、花をより引き立てるばかりでなく、会場の雰囲気にもとてもマッチするもので、飾り付けも従来の菊中心ではなく、色花も豊富に取り入れたデザインにしています。
　供花一台の価格も従来のパイプ製と同じ一本１５７５０円（税込）に設定して、現在は六台まで対応可能です。
　ファミリースペースでのお葬儀の供花として贈ることができます。詳しくはスタッフまでお問い合せください。

春夏秋冬

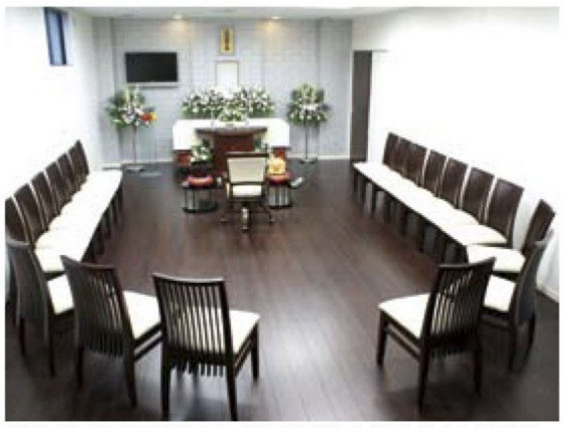
　春は卒業や入学など出会いと別れが多い季節です。私たちが小学生だった三十年ほど前と、今では随分と違いを感じてしまいます。
　卒業といって真っ先に思い出すのは「仰げば尊し」や「蛍の光」の唱歌です。「蛍の光窓の雪…」「蛍の灯火積む白雪」など歌われている歌詞からも卒業といえば「雪」という季節感が、南国熊本に生まれ育った私ですらあります。
　また、入学式と言って思い出すのは、何と言っても桜吹雪。小さな身体に大きなランドセルを背負って、母親に手を引かれながら新入生が桜吹雪の中を歩く様子は何となく微笑ましい感じです。
　しかし、最近はどうでしょうか。ここ熊本では三月二十日頃には開花宣言がなされ、三月の終わりには満開、それこそ四月の入学式の頃には葉桜になってしまっています。
　変わったといえば卒業式や入学式などで歌われる歌も一昔前とは大きく変わってきたようです。卒業式で仰げば尊しの替わりに最近では贈る言葉や、さくら等が歌われることが多くなり、蛍の光も本来四番まであるにも係らず、二番までしか歌われないケースが殆どになりました。入学式でも国歌「君が代」が歌われなかったり…。
　理由は歌詞の中に愛国的部分が含まれている、現代の言葉使いにあわないなど様々ですが、愛国に軍国主義や天皇崇拝的な部分を連想させるという解釈からなのでしょうか。
　しかし、季節感の変化が環境破壊の影響であること、歌われる歌が思想に基づくものであること全て人間が関与するものです。このままで将来に不安はないだろうか。見直すとすれば時間が限られている気がします。

つどう、語らう、心がかようお葬式

リビングで送る「ファミリースペース東京塚」

くまもと県民葬祭　［くまもと県民葬祭］［検索］

父や母、子や孫と… 最期はこんな静かで温かな時間を



椅子も列で並べるのではなく、話しができるよう向かい合わせに配置

「最期は住み慣れた自宅から送ってあげたい」。ほんの20年前まで、葬儀は自宅で行われているのが主流でした。
　昨年、灰塚バス停前に誕生した「ファミリースペース東京塚」は家族の想いを現代のライフスタイルの中で実現できる新しい斎場。通夜から告別式までの2日間を完全貸切で、まるで自宅のように利用できます。
　斎場には大型のホールはなく、あるのはまるで我が家のようなのリビングルームとダイニング。大切な故人の隣で想い出話を縁あった人々と語らいながら、心を込めて送ることができる空間になっています。
　通夜ぶるまいができる食堂や、お棺に入る前に故人と一晩ともにできる部屋なども備わり、式は経験豊富なスタッフがしっかり進行してくれます。
　4月にはお葬式に関するセミナーも開催。各メディアでも活躍中の同社の森社長が、変わりつつある葬儀について、問題点や今しておくべきことなどをお話してくれます。入場は無料ですが、予約が必要です。
　生前予約に関する相談も受付中。詳しくは電話で問合せを。

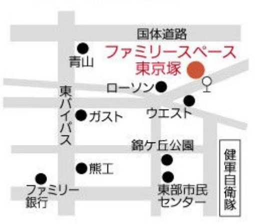
灰塚バス停前にある会場（見学は自由）

メディアでも活躍中
社長の森輝和さん

あなたらしく生きるための…お葬式講座開催
変わりゆくお葬式のカタチ　参加無料

日時／4月17日(土)　14：00～
定員／80人(先着順)
会場／尾ノ上コミュニティーセンター

日時／4月18日(日)　14：00～
定員／80人(先着順)
会場／帯山コミュニティーセンター



☎0077(78)1059 通話無料

悠々倶楽部

悠々倶楽部ツアー20回記念特別企画
西長門リゾートと萩満喫の旅

一泊4食（懇親会費含む）19,800円

5月12日(水)～13日(木)

参加者募集中！